

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 

innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

セクション 1: 成分、混合物、及び会社名

1.1 製品識別

製品名 **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

1.2 識別された成分あるいは混合物の使用、及び留意すべき使用

特定した重要な用途 複合樹脂

推奨された制限 通常の使用ではありません。 専門的な注意書きを守ること。

1.3 安全データシートを用意するサプライヤーについての詳細

製造元 fischerwerke GmbH & Co. KG
Klaus-Fischer-Straß 1
D-72178 Waldachtal, Germany
電話: +49(0) 7443 12-0
ファクス: +49(0) 7443 12-4222
E メール: info-sdb@fischer.de

輸入・販売元

フィッシャーージャパン株式会社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-4-15 清新九段ビル 3F
電話: 03-3263-4491
ファクス: 03-6272-9935
E メール: info@fischerjapan.co.jp
ホームページ: www.fischerjapan.co.jp

1.4 緊急電話番号

緊急電話番号 (同上・フィッシャーージャパン(株))

セクション 2: 危険の可能性

2.1 成分および混合物のクラス

欧州議会・理事会規則 (EC) No. 1272/2008 皮膚刺激 2; H315 眼に対する損傷性/刺激性 1; H318 皮膚感作性 1; H317

に準ずる等級分類

指令 67/548/EEC / R43 Xi ; R41

1999/45/EEC による
分類

2.2 ラベル特性

*注意絵表示



GHS05



GHS07

*注意喚起語

危険

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

発行日: 2015 年 1 月 26 日

ラベル上で示される危険なコンポーネント ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル、ポルトランドセメント、メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル、2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)

H フレーズ H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318: 重篤な目の損傷。

P フレーズ P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。
P102: 子供の手の届かない所に保管すること。
P280: 保護手袋/保護衣/防護メガネ/顔面防護具を着用すること。
P305+P351+P338: 眼に入った場合:清水で数分間注意深く洗顔すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗眼を続けること。
P310: 直ちに医師に連絡すること。

2.3 その他の危険

健康上有害なもの	知見無し
人間/環境のための特別な情報に関する固有のリスク	知見無し
危険の表示	知見無し
危険警戒	知見無し

セクション 3: 組織/構成要素の記述

危険な成分

成分		分類 67/548/EEC	濃度
		分類 1272/2008/EC	
ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	CAS 番号: 2082-81-7 EG 番号: 218-218-1 REACH 番号: 02-2119849716-25	Xi ; R43	10.0~25.0% 重量の割合
		皮膚感作性 1 ; H317	
ポルトランドセメント	CAS 番号: 65997-15-1 EG 番号: 266-043-4 REACH 番号:物質は規制 (EC) No 1207/2006 [REACH]に準じて登録を 必要としない。	Xi ; R37/38-41	10.0~25.0% 重量の割合
		皮膚刺激 2 ; H315 眼に対する 損傷性/刺激性 1 ; H318 皮膚 特定標的臓器/全身 毒性 (単回 暴露) 3 ; H335	
メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル、2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	CAS 番号: 27813-02-1 EG 番号: 248-666-3 REACH 番号: 01-2119490226-37	R43 Xi ; R36	2.5~10.0% 重量の割合
		皮膚感作性 1 ; H317 眼の刺激 2 ; H319	

セクション 4: 応急処置対策

4.1 応急処置対策

一般的助言 症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
直ちに全ての汚染した衣服を取る/脱ぐ。

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 

innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

吸入した場合	吸入した場合: 被害者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休ませる。
皮膚接触の場合	皮膚に付着した場合: 多量の石鹼と水で穏やかに洗う。 皮膚の刺激または皮疹が生じた場合、医師の診断/治療を求める。
眼に触れた場合	眼に入った場合はコンタクトレンズを外し、瞼の内側も含めて直ちに最低 15 分間多量の清水で洗眼する。医師の診断/治療を受ける。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、直ちに医師に診断を求め、この容器やラベルを見せる。口を清水ですすぎ、その後多量の水を飲む。1~2 杯の清水を飲む。吐き出させない。

4.2 重要な急性および後発性症状と影響

徴候 知見無し

4.3 医療緊急措置あるいは特別治療に関する注意

直ちに医師の援助 入手できるデータは無い

特別な医療 入手できるデータは無い

セクション 5: 消火作業のための対策

5.1 消火剤

適切な消火剤 二酸化炭素(CO₂)、乾燥粉末、泡、ウォーターズプレージェット

安全上使用してはいけない消火剤 大容量水ジェット

5.2 成分および混合物により発生する危険の特性

物質、準備、その燃焼 加熱又は火災により有毒ガスが発生する。

生成物、又は 方出ガス
による特別な接触危険

5.3 消火措置に関する注意

消火のための特別な設備 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。
火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。

消火上の追加情報 火災の残留物や汚染した消火用水は、関係規制に従って処理する。
水スプレーで容器および周辺を冷却すること。

セクション 6: 予期しない放出の際の対策

6.1 人体の予防措置、保護装置、緊急事態の対処法

人体への警告 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
こぼれ/漏れが発生している場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。

6.2 環境保護対策

環境上の警告 本製品が、排水および水路、地表へ流れ込まないように留意する。
広範囲に広まるのを防ぐ。(防止手段: 隔離、オイルバリアの使用等)

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp



バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

6.3 滞留および洗浄のための方法と物質

洗浄の方法

荷役機械を使用する。

回収した物質は『Disposal consideration – 処分の際に考慮する項目』の指示等に従って取り扱う。

6.4 他章を参照

参照する他章

参照: セクション 8~13

6.5 追加の情報

他の情報

地域の規制等に従って廃棄する。

セクション 7: 取り扱いと保管

7.1 安全な処理のための措置

安全な取扱いについての忠告

通常の使用下では、ありません。

注意: 硬化状態の加工中に、ダストが形成される。

火と爆発からの身を守るため
忠告

通常の使用では特に必要がない。

7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保管スペースとコンテナの
必要条件

換気の良い冷暗場所で容器の栓をしっかりと閉める。

地域の規則に従い保管する。

オリジナル容器のみで保管する。

保管上のヒント

それぞれの国の規定に従って保管する。

ドイツ保管クラス

10~13 (TRGS 510) (TRGS 510 = Technical Rule for Hazardous Substances 510,
ドイツ危険物質 510 のためのテクニカル規則)

例: 11 (Brennbare Feststoffe = Flammable Solids =
燃焼性固体)

7.3 特殊な最終用途

特定のな用法

複合樹脂

詳細な指示: 専門的な要領書等を参照。

セクション 8: 暴露の制限と監視/人体防護装備

8.1 監視パラメーター

本製品は作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない。

8.2 暴露の制限と監視/人体防護装備

呼吸の保護

通常、呼吸保護具は不要。

手の保護

通常の使用では必要がない。

適切な材質: ブチルゴム、クロロプレン、ニトリルゴム

不適切な材質: PVC (ポリ塩化ビニル) 使い捨て手袋

材質の厚さ: 使用の用途と期間により調整

変換期: 使用の用途と期間により調整

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 

innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

備考:	製造社から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業場の条件(機械との酷使、接触時間)に注意する。
参照:	消耗したら取り替える。
眼の保護	密着性が高い安全ゴーグル
皮膚および身体保護	適切な保護具を着用する。
注意:	作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、人体保護を選択する。
一般的な保護と衛生対策	作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止。 皮膚、眼、衣服との接触は避ける。 直ちに汚染された衣服を脱ぐ。 休憩前や終業時には手を洗う。 飲食物やペットフードから離す。 この製品を扱う前には、皮膚保護クリーム等を使う。
環境保護規則についての情報	環境に対する特別処置は不要。

セクション 9: 物理的および化学的な性質

9.1 物理的および化学的な性質の基本的な情報

物理的な状態	ペースト
色	薄灰色
匂い	特徴あり
臭気閾値	確定されていない
pH 値	データなし
融点 [°C]/氷点 [°C]	データなし
沸点 [°C]	規定なし
引火点 [°C]	>100
蒸発速度 [kg/(s * m ²)]	入手できるデータなし
可燃性	入手できるデータなし
爆発限界 [Vol-%]	
下限	規定なし
上限	規定なし
爆発の危険	非爆発性
蒸気圧力 [kPa]	入手できるデータなし
密性 [g/cm ³]	1.7 ~ 1.9
温度	20 °C
相対密度	入手できるデータなし
水可溶性 [g / l]	確定されていない
可溶性 [g / l]	入手できるデータなし
分解係数 (n-オクタン/水) [log P O / W]	入手できるデータなし
自然発火性	非自然発火性
分解温度 [°C]	規定なし

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp



innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

動的粘性 [kg/(m * s)] 110 ~ 140
 温度 20 °C

爆発性 非爆発性
 爆発の危険 非爆発性
 酸化性 酸化性は無い

9.2 その他の情報

蒸気比重 (空気 = 1) 規定なし

セクション 10: 安定性と反応性

10.1 反応性

熱分解 指示どおりの保管と適用においては分解ない。

10.2 化学安定性

化学的な安定性 推奨保管条件下においては安定。

10.3 危険有害反応

危険な反応 一般的な使用条件下においては危険な反応は報告ない。

10.4 回避すべき条件

回避すべき条件 指示どおりの使用においては分解ない。

10.5 不適合物質

回避すべき物質 該当無し

10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物 指示どおりの使用においては分解ない。

セクション 11: 毒性情報

11.1 毒性の影響による情報

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル

経口毒性 [mg/kg]	試験基準	試験動物	情報元
> 2000	LD ₅₀	ラット	100

情報元: 100 = Firmendaten

経皮毒性 [mg/kg]	試験基準	試験動物	情報元
> 3000	LD ₅₀	ウサギ	100

情報元: 100 = Firmendaten

吸入毒性 [mg/l]	情報元
入手できるデータなし	2

情報元: 2 = SimChem

感作性	皮膚感作性
発がん性への影響	発がん性への影響は無い
突発変異誘発性	該当無し
繁殖毒性	該当無し
焼灼(ショウシャク)性への影響	腐食性は無い

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

発行日: 2015 年 1 月 26 日

特定の標的臓器毒性 (一度の暴露) [mg/kg]	特定な影響	情報元
	無し	2

情報元: 2 = SimChem

特定の標的臓器毒性 (反復したの暴露) [mg/kg]	特定な影響	情報元
	無し	2

情報元: 2 = SimChem

ポルトランドセメント

経口毒性 [mg/kg]	試験基準	備考	情報元
> 2000	LD ₅₀	文献値	100

情報元: 100 = Firmendaten

経皮毒性 [mg/kg]	試験基準	試験動物	備考	情報元
> 2000	LD ₅₀	ウサギ	制限試験 2000 mg/kg	100

情報元: 100 = Firmendaten

吸入毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	備考	情報元
> 5	LC ₅₀	ラット	制限試験 5 g/m ³	100

情報元: 100 = Firmendaten

感作性	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
発がん性への影響	該当無し
突発変異誘発性	該当無し
繁殖毒性	該当無し
焼灼(シヨウヤク)性への影響	入手できるデータなし

特定の標的臓器毒性 (一度の暴露) [mg/kg]	特定な影響	情報元
	呼吸器官を刺激する (浮遊微粉末)	100

情報元: 100 = Firmendaten

特定の標的臓器毒性 (反復した暴露) [mg/kg]	特定な影響	情報元
	該当無し	100

情報元: 100 = Firmendaten

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)

経口毒性 [mg/kg]	試験基準	試験動物	備考	情報元
> 2000	LD ₅₀	ラット	OECD 試験ガイドライン 401	100

情報元: 100 = Firmendaten

経皮毒性 [mg/kg]	試験基準	試験動物	情報元
> 5000	LD ₅₀	ウサギ	100

情報元: 100 = Firmendaten

吸入毒性 [mg/l]	情報元
入手できるデータなし	100

情報元: 100 = Firmendaten

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

発行日: 2015 年 1 月 26 日

感作性	皮膚感作性
発がん性への影響	該当無し
突発変異誘発性	該当無し
繁殖毒性	該当無し
焼灼(ショウシャク)性への影響	腐食性は無い

特定の標的臓器毒性 (一度の暴露) [mg/kg]	特定な影響	情報元
	該当無し	100

情報元: 100 = Firmendaten

特定の標的臓器毒性 (反復した暴露) [mg/kg]	特定な影響	情報元
	該当無し	100

情報元: 100 = Firmendaten

皮膚への刺激影響	皮膚と粘膜に刺激
眼への刺激影響	眼へ刺激

11.2 追加の情報

他の情報 製品自体ではテストされていない。

セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル

魚への毒性 [mg/l]	試験基準	測定方法	投薬期間	情報元
32.5	LC ₅₀	ドイツ工業規格 DIN 38412	48 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

藻類への毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	測定方法	情報元
9.79	EC ₅₀	Scenedesmus capricornutum (淡水産藻)	OECD 試験ガ イドライン 201	100

情報元: 100 = Firmendaten

生物分解性 易分解性

ポルトランドセメント

魚への毒性 [mg/l]	試験基準	情報元
> 100	LC ₅₀	100

情報元: 100 = Firmendaten

ミジンコへの毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	情報元
> 100	LC ₅₀	オオミジンコ	100

情報元: 100 = Firmendaten

藻類への毒性 [mg/l]	試験基準	情報元
> 100	EC ₅₀	100

情報元: 100 = Firmendaten

生物分解性 該当無し (無機/無生物)

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fjip

発行日: 2015 年 1 月 26 日

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)

魚への毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	測定方法	投薬期間	情報元
493	LC ₅₀	ゴールド ンオーフ	ドイツ工業規格 DIN 38412	48 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

ミジンコへの毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	測定方法	投薬期間	情報元
> 130	EC ₅₀	オオミジ ンコ	OECD 試験ガイドラ イン 202	48 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

藻類への毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	測定方法	投薬期間	情報元
345	EC ₅₀	Scenedesmus capricornutum (淡水産藻)	OECD 試験ガ イドライン 201	72 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

生物分解性

易分解性

NOEC (ミジンコ) [mg/l]
(無影響濃度)

24.1

12.2 残存性および退化性
消失と分布のメカニズム
浄化施設内での消失

本製品に関する情報はない。
本製品に関する情報はない。

12.3 生物濃縮の可能性
生物濃縮性
生物濃縮の要因

本製品に関する情報はない。
本製品に関する情報はない。

12.4 土壌中の移動性
環境への分布
移動性

本製品に関する情報はない。
本製品に関する情報はない。

12.5 PBT と vPvB 評価の結果
PBT 特性の検出結果

当調剤は高残留性、高蓄積性(vPvB)に該当する物質があるとは考えられていない。

参照: PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic 残留性・蓄積性・毒性を有する物質
vPvB = Very Persistent and Very Bioaccumulative 高残留性・高蓄積性を有する物質

12.6 その他の有害な情報
環境に関しての更に詳しい情報

製品自体ではテストされていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄処理方法

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

廃棄の注意

本製品が、排水は水路、地面に排出しないように留意する。
 廃棄物処理は、準拠する地域の規制等の指示に従う。
 容器内の残物を空にする。

廃棄コード (ドイツの例)

欧州廃棄物カタログによると、廃棄コードは製品ごとに決められているのではなく、その応用法に基づいて決められている。

以下の廃棄コードは例である。

製品 (主剤 及び 硬化剤)

200127 – 危険物質を含むペイント、インク、接着剤、及び 樹脂

080409 – 有機剤またはその他危険物質を含む廃棄接着剤及びシーリング剤

硬化した製品片 及び 完全に出し切ったカートリッジ

200000 – 分別収集物を含む自治体廃棄物 (家庭系廃棄物と類似の商業系、工場系、産業系廃棄物)

汚れた空の包装

未使用の製品として処分。
 排水溝、水路、衛生用下水等へは排出しない。

セクション 14 : 輸送に関する情報

	陸上交通 (ADR/RID)	海上運輸 (IMDG)	空輸 (ICAO/IATA)
14.1 UN 番号	該当無し	該当無し	該当無し
14.2 製品の概要	ADR により非危険製品	IMDG により非危険製品	IATA により非危険製品
14.2 UN 輸送名		非危険製品	非危険製品
14.3 輸送における危険有害性クラス	該当無し	該当無し	該当無し
14.4 梱包グループ	該当無し	該当無し	該当無し
14.5 環境に対する有害性	該当無し	該当無し	該当無し
危険物質の放出	該当無し	該当無し	該当無し

14.6 使用者のための注意点

注意点 通常の使用では必要が無い。

14.7 MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送

MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送 該当無し

14.8 追加の情報

他の情報 (セクション 14) ADR/RID、ADNR、IMDR コード、ICAO/IATA-DGR に基づく非危険製品

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 主剤 (容器 A)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 

innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

セクション 15: 法令規制の情報

15.1 安全、健康及び環境に関する規定/物質及び混合物に関する特別法規定

追加の制限 該当無し

15.2 化学物質安全性評価

安全性評価 関連性は無い。
本混合物の物質の化学物質安全性評価は実施されていない。

セクション 16: その他の情報

関連の R フレーズ R36: 眼に刺激性。
R37/38: 呼吸器系と皮膚に刺激性。
R41: 眼に重度な損傷のリスクがある。
R43: 皮膚接触による感作性の可能性。

関連の H フレーズ H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
H318: 重篤な眼の損傷。
H319: 眼に強い刺激。
H335: 呼吸器への刺激のおそれがある。

危険等級の表記 Skin Irrit. = 皮膚刺激
Eye Dam. = 重篤な眼の損傷
Skin Sens. = 皮膚感作
STOT SE = Specific Target Organ Toxicity – Single Exposure
特定の標的臓器毒性 (一度の暴露)

Eye Irrit. = 重篤な眼への刺激

前バージョンからの変更 前バージョンからの変更箇所をアスタリスク()で示す。

(EC)1207/2008 [CLP] 規制に
準ずる混合物の分類と評価

分類	評価
皮膚刺激 2; H315	算出済み
重篤な眼の損傷 1; H318	算出済み
皮膚刺激 1; H317	算出済み

推奨された制限 通常の使用下ではありません。 専門的な要領書等を守る。

本情報は当社の知識および経験の最新状況に基づいております。 本安全データシートは安全性要件に基づいて製品を説明しております。 本情報は性能、特性、品質の保証をするものではありません。

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 

innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

セクション 1: 成分、混合物、及び会社名

1.1 製品識別

製品名 **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

1.2 識別された成分あるいは混合物の使用、及び留意すべき使用

特定した重要な用途 複合樹脂

推奨された制限 通常の使用ではありません。 専門的な注意書きを守ること。

1.3 安全データシートを用意するサプライヤーについての詳細

製造元 fischerwerke GmbH & Co. KG
Klaus-Fischer-Straß 1
D-72178 Waldachtal, Germany
電話: +49(0) 7443 12-0
ファクス: +49(0) 7443 12-4222
E メール: info-sdb@fischer.de

輸入・販売元

フィッシャーージャパン株式会社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-4-15 清新九段ビル 3F
電話: 03-3263-4491
ファクス: 03-6272-9935
E メール: info@fischerjapan.co.jp
ホームページ: www.fischerjapan.co.jp

1.4 緊急電話番号

緊急電話番号 (同上・フィッシャーージャパン(株))

セクション 2: 危険の可能性

2.1 成分および混合物のクラス

欧州議会・理事会規則 (EC) No. 1272/2008 眼に刺激性 2; H319 皮膚感作性 1; H317 水生環境慢性有毒性 2;
に準ずる等級分類 H411

指令 67/548/EEC / 1999/45/EEC による 分類 R43 N; R51/53

2.2 ラベル特性

*注意絵表示



GHS07



GHS09

*注意喚起語

危険

ラベル上で示される危険なコンポーネント

過酸化ベンゾイル

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

発行日: 2015 年 1 月 26 日

H フレーズ
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H319: 眼に強い刺激。
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

P フレーズ
 P102: 子供の手の届かない所に保管すること。
 P280: 保護手袋/保護衣/防護メガネ/顔面防護具を着用すること。
 P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。

2.3 その他の危険

健康上有害なもの	知見無し
人間/環境のための特別な情報に関する固有のリスク	知見無し
危険の表示	知見無し
危険警戒	知見無し

セクション 3: 組織/構成要素の記述

危険な成分

成分	分類 67/548/EEC	濃度	
			分類 1272/2008/EC
過酸化ベンゾイル	CAS 番号: 94-36-0 EG 番号: 202-327-6 Index 番号: 617-008-00-0 REACH 番号: 01-2119511472-50	E ; R3 Xi ; R36 R43 N ; R50/53 有機過酸化物 B ; H241 眼の刺激 2 ; H319 皮膚感作性 1 ; H317 水生環境急性有毒性 2 ; H400	10.0~25.0% 重量の割合

セクション 4: 応急処置対策

4.1 応急処置対策

一般的助言
 症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
 直ちに全ての汚染した衣服を取る/脱ぐ。

吸入した場合
 吸入した場合: 被害者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休ませる。

皮膚接触の場合
 皮膚に付着した場合: 多量の石鹼と水で穏やかに洗う。

眼に触れた場合
 眼に入った場合はコンタクトレンズを外し、瞼の内側も含めて直ちに最低 15 分間多量の清水で洗眼する。医師の診断/治療を受ける。

飲み込んだ場合
 飲み込んだ場合、直ちに医師に診断を求め、この容器やラベルを見せる。口を清水ですすぎ、その後多量の水を飲む。1~2 杯の清水を飲む。吐き出させない。

4.2 重要な急性および後発性症状と影響

徴候
 知見無し

4.3 医療緊急措置あるいは特別治療に関する注意

直ちに医師の援助
 入手できるデータは無い

特別な医療
 入手できるデータは無い

セクション 5: 消火作業のための対策

5.1 消火剤

適切な消火剤 二酸化炭素(CO₂)、乾燥粉末、泡、ウォータースプレージェット

安全上使用してはいけない消火剤 大容量水ジェット

5.2 成分および混合物により発生する危険の特性

物質、準備、その燃焼 加熱又は火災により有毒ガスが発生する。
生成物、又は 方出ガス
による特別な接触危険

5.3 消火措置に関する注意

消火のための特別の設備 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。
火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。

消火上の追加情報 火災の残留物や汚染した消火用水は、関係規制に従って処理する。
水スプレーで容器および周辺を冷却すること。

セクション 6: 予期しない放出の際の対策

6.1 人体の予防措置、保護装置、緊急事態の対処法

人体への警告 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
こぼれ/漏れが発生している場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。

6.2 環境保護対策

環境上の警告 本製品が、排水および水路、地表へ流れ込まないように留意する。
広範囲に広まるのを防ぐ。(防止手段: 隔離、オイルバリアの使用等)

6.3 滞留および洗淨のための方法と物質

洗淨の方法 荷役機械を使用する。
回収した物質は『Disposal consideration – 処分の際に考慮する項目』
の指示等に従って取り扱う。

6.4 他章を参照

参照する他章 参照: セクション 8~13

6.5 追加の情報

他の情報 地域の規制等に従って廃棄する。

セクション 7: 取り扱いと保管

7.1 安全な処理のための措置

安全な取り扱いについての忠告 通常の使用下では、ありません。
注意: 硬化状態の加工中に、ダストが形成される。

火と爆発からの身を守るため
忠告 通常の使用では特に必要がない。

7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保管スペースとコンテナの
必要条件 換気の良い冷暗場所で容器の栓をしっかりと閉める。
地域の規則に従い保管する。
オリジナル容器のみで保管する。

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 
innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

保管上のヒント それぞれの国の規定に従って保管する。

ドイツ保管クラス 10~13 (TRGS 510) (TRGS 510 = Technical Rule for Hazardous Substances 510, ドイツ危険物質 510 のためのテクニカル規則)
例: 11 (Brennbare Feststoffe = Flammable Solids = 燃焼性固体)

7.3 特殊な最終用途

特定のな用法 複合樹脂
詳細な指示: 専門的な要領書等を参照。

セクション 8: 暴露の制限と監視/人体防護装備

8.1 監視パラメーター

本製品は作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない。

8.2 暴露の制限と監視/人体防護装備

呼吸の保護 通常、呼吸保護具は不要。

手の保護

通常の使用では必要がない。
適切な材質: ブチルゴム、クロロプレン、ニトリルゴム
不適切な材質: PVC (ポリ塩化ビニル) 使い捨て手袋
材質の厚さ: 使用の用途と期間により調整
変換期: 使用の用途と期間により調整
備考: 製造社から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業場の条件 (機械との酷使、接触時間) に注意する。
参照: 消耗したら取り替える。

眼の保護

密着性が高い安全ゴーグル

皮膚および身体保護

適切な保護具を着用する。
注意: 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、人体保護を選択する。

一般的な保護と衛生対策

作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止。
皮膚、眼、衣服との接触は避ける。
直ちに汚染された衣服を脱ぐ。
休憩前や終業時には手を洗う。
飲食物やペットフードから離す。
この製品を扱う前には、皮膚保護クリーム等を使う。

環境保護規則についての情報

環境に対する特別処置は不要。

セクション 9: 物理的および化学的な性質

9.1 物理的および化学的な性質の基本的な情報

物理的な状態	ペースト
色	黒色
匂い	特徴あり
臭気閾値	確定されていない
pH 値	データなし
融点 [°C] / 氷点 [°C]	データなし
沸点 [°C]	規定なし
引火点 [°C]	>100
蒸発速度 [kg/(s * m ²)]	入手できるデータなし
可燃性	入手できるデータなし

爆発限界 [Vol-%]

下限	規定なし
上限	規定なし

蒸気圧力 [kPa] 入手できるデータなし

密度 [g/cm³]
温度 20 °C

水可溶性 [g / l] 確定されていない

可溶性 [g / l] 入手できるデータなし

分解係数 (n-オクタン / 水)
[log P O / W] 入手できるデータなし

自然引火性 [°C] 非自然発火性

分解温度 [°C] 規定なし

動的粘性 [kg/(m * s)]
温度 20 °C

爆発の危険 非爆発性

9.2 その他の情報

酸化性 酸化性は無い

蒸気比重 (空気 = 1) 規定なし

セクション 10: 安定性と反応性

10.1 反応性

熱分解 指示どおりの保管と適用においては分解ない。

10.2 化学安定性

化学的な安定性 推奨保管条件下においては安定。

10.3 危険有害反応

危険な反応 一般的な使用条件下においては危険な反応は報告ない。

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

fischer 

innovative solutions

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

発行日: 2015 年 1 月 26 日

10.4 回避すべき条件

回避すべき条件 指示どおりの使用においては分解ない。

10.5 不適合物質

回避すべき物質 該当無し

10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物 指示どおりの使用においては分解ない。

セクション 11: 毒性情報

11.1 毒性の影響による情報

有害な成分

過酸化ベンゾイル

経口毒性 [mg/kg]	試験基準	試験動物	情報元
> 5000	LD ₅₀	ラット	100

情報元: 100 = Firmendaten

吸入毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	備考	情報元
24300	LC ₅₀	ラット	(浮遊微粉末)	100

情報元: 100 = Firmendaten

皮膚への刺激影響 皮膚と粘膜に刺激
眼への刺激影響 眼へ刺激

11.2 追加の情報

他の情報 製品自体ではテストされていない。

セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性

有害な成分

過酸化ベンゾイル

魚への毒性 [mg/l]	試験基準	投薬期間	情報元
0.06	LC ₅₀	96 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

ミジンコへの毒性 [mg/l]	試験基準	試験動物	投薬期間	情報元
0.11	EC ₅₀	オオミジンコ	48 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

藻類への毒性 [mg/l]	試験基準	投薬期間	情報元
0.06	EC ₅₀	72 時間	100

情報元: 100 = Firmendaten

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

発行日: 2015 年 1 月 26 日

無影響濃度 (ミジンコ) [mg/l]

値	試験動物	試験基準	投薬期間
1	オオミジンコ	OECD 202	48 時間

無影響濃度 (藻類) [mg/l]

値	試験動物	試験基準	情報元
0.5	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD 201	72 時間

12.2 残存性および退化性

消失と分布のメカニズム
浄化施設内での消失

本製品に関する情報はない。
本製品に関する情報はない。

12.3 生物濃縮の可能性

生物濃縮性
生物濃縮の要因

本製品に関する情報はない。
本製品に関する情報はない。

12.4 土壌中の移動性

環境への分布
移動性

本製品に関する情報はない。
本製品に関する情報はない。

12.5 PBT と vPvB 評価の結果

PBT 特性の検出結果

当調剤は高残留性・高蓄積性(vPvB)に該当する物質があるとは考えられていない。

参照: PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic 残留性・蓄積性・毒性を有する物質

vPvB = Very Persistent and Very Bioaccumulative 高残留性・高蓄積性を有する物質

12.6 その他の有害な情報

環境に関しての更に詳しい情報

製品自体ではテストされていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄処理方法

廃棄の注意

本製品が、排水は水路、地面に排出しないように留意する。
廃棄物処理は、準拠する地域の規制等の指示に従う。
容器内の残物を空にする。

廃棄コード (ドイツの例)

欧州廃棄物カタログによると、廃棄コードは製品ごとに決められているのではなく、その応用法に基づいて決められている。

以下の廃棄コードは例である。

製品 (主剤 及び 硬化剤)

200127 – 危険物質を含むペイント、インク、接着剤、及び樹脂

080409 – 有機剤またはその他危険物質を含む廃棄接着剤及びシーリング剤

硬化した製品片 及び 完全に出し切ったカートリッジ

200000 – 分別収集物を含む自治体廃棄物 (家庭系廃棄物と類似の商業系、工場系、産業系廃棄物)

安全データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠



商用製品名: **FIS VS 360 S** — 硬化剤 (容器 B)

改訂日: 2015 年 1 月 26 日

バージョン置換: 2014 年 7 月 24 日

バージョン: 5.0/jp/fijp

発行日: 2015 年 1 月 26 日

汚れた空の包装

未使用の製品として処分。
排水溝、水路、衛生用下水等へは排出しない。

セクション 14: 輸送に関する情報

	陸上交通 (ADR/RID)	海上運輸 (IMDG)	空輸 (ICAO/IATA)
14.1 UN 番号	3077	3077	3077
14.2 製品の概要	ENVIRONMETALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S (過酸化ベンゾイル)	ENVIRONMETALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S (過酸化ベンゾイル)	ENVIRONMETALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S (過酸化ベンゾイル)
14.2 UN 輸送名		ENVIRONMETALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S (過酸化ベンゾイル)	ENVIRONMETALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S (過酸化ベンゾイル)
14.3 輸送における危険有害性クラス	9	9	9
14.4 梱包グループ	III	III	III
14.5 環境に対する有害性	U – 環境に有害	U – 海洋汚染	U – 環境に有害
備考	非危険物 元の包装で (特別規定 375)	非危険物 元の包装で (特別規定 375)	非危険物 元の包装で (特別規定 A197)

14.6 使用者のための注意点

注意点 通常の使用では必要が無い。

14.7 MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送

MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送 該当無し

セクション 15: 法令規制の情報

15.1 安全、健康及び環境に関する規定/物質及び混合物に関する特別法規定

追加の制限 該当無し

15.2 化学物質安全性評価

安全性評価 関連性は無い。
本混合物の物質の化学物質安全性評価は実施されていない。

セクション 16: その他の情報

関連の R フレーズ

R3: 衝撃、摩擦、火気、その他の発火源による爆発の危険がきわめて高い。
 R36: 眼に刺激性。
 R43: 皮膚接触による感作性の可能性。
 R50/53: 水生生物に対する猛毒性、水生環境中で長期悪影響を及ぼすおそれがある。
 R51/53: 水生生物に対する有毒性、水生環境中で長期悪影響を及ぼすおそれがある。

関連の H フレーズ

H241: 熱すると火災や爆発のおそれ。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
 H319: 眼に強い刺激。
 H400: 水生生物に強い毒性がある。
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性がある。

危険等級の表記

Eye Irrit. = 重篤な眼への刺激
 Skin Sens. = 皮膚感作
 Aquatic Chronic = 水生環境慢性有毒性、自然水系を汚染
 Org. Perox. = 有機過酸化物
 Aquatic Acute = 水生環境急性有毒性、自然水系を汚染

前バージョンからの変更

前バージョンからの変更箇所をアスタリスク(*)で示す。

(EC)1207/2008 [CLP] 規制に準ずる混合物の分類と評価

分類	評価
皮膚刺激 1; H317	算出済み
重篤な眼の損傷 2; H319	算出済み
水生環境慢性有毒性 2; H411	データは専門家の判定を入手

推奨された制限

通常の使用下ではありません。 専門的な要領書等を守る。

本情報は当社の知識および経験の最新状況に基づいております。 本安全データシートは安全性要件に基づいて製品を説明しております。 本情報は性能、特性、品質の保証をするものではありません。